

CAMUIロケット実験延期

エンジンに不具合

【大樹】町内で18日に予定されていたCAMUI型ハイブリッドロケットの打ち上げ実験が延期となった。6日に赤平市で行った燃焼実験でエンジンに不具合が生じたため。開発チームのリーダー永田晴紀・北大大学院助教授は「不具合対策を行い、信頼性のあるエンジンを作るためには今年度中の実験は無理」とし、「来年度には大樹町で打ち上げ実験を行いた

い」と話している。同ロケットはプラスチックを燃料とし、液体酸素を酸化剤に使う無火薬式。北大など道内3大学と中小4企業、NPO法人北海道宇宙科学技術創成センター(札幌市、HASTIC)が開発を進め、町内ではこれまで4回の実験を行った。今回の打ち上げで使用する予定だった新型機体は推力が従来の8倍となる400㏩。高度10㏩まで飛ばし、海面に着水させる計画だった。永田助教授は「燃焼実験では液体酸素の供給でエンジンが異常燃焼するため、原因を究明している。今年度中の実験が行えず非常に残念」と肩を落としている。(松村智裕)

【大樹】町内で18日に予定されていたCAMUI型ハイブリッドロケットの打ち上げ実験が延期となった。6日に赤平市で行った燃焼実験でエンジンに不具合が生じたため。開発チームのリーダー永田晴紀・北大大学院助教授は「不具合対策を行い、信頼性のあるエンジンを作るためには今年度中の実験は無理」とし、「来年度には大樹町で打ち上げ実験を行いた